

第7回 昆虫標本箱コンテスト 結果発表

NPO法人カラカネイトトンボを守る会
標本箱コンテスト審査委員会

最優秀賞

柴崎 惺 (しばさき さとる)さん 「かこくだったトンボとり」

審査員より

種数と採集場所の数が圧倒的でした。また、ラベル付けが一つ一つ丁寧になされているのも良かったです。多くの場所でトンボを捕っているので、それぞれの場所の環境の違いに着目してレポートを書くと、より素晴らしいものになると思います。



優秀賞

野島 陵佑（のじまりょうすけ）さん 「ぼくのつかまえたトンボたち」

審査員より

北海道のみならず、秋田県でも昆虫採集を楽しんだ様子がとても伝わってきました。特に、色のついたシールで場所ごとにラベルを区別している工夫が、とても見やすく良かったです。北海道と秋田県で共通して捕れた種と、それぞれの地域でしか捕れない種があります。その違いに注目してレポートを書くとより素晴らしいものになると思います。



優秀賞

野島 康佑（のじま こうすけ）さん

「トンボをつかまえた夏休み」

審査員より

陵佑さんと同じく、採集したトンボの場所をシールでラベル付けされていた工夫が良かったです。また場所ごとに採集したトンボの特徴、採っている様子や、採っていて感じたことがしっかりとまとめられていました。



優秀賞

隈元 蒼 (くまもと あお)さん

「あおのむし」

審査員より

採集したトンボを、1つ1つ台紙に向きをそろえて貼られていて、キレイな標本を作ろうと努力している様子が見られました。ラベル付けについて、採った日時、場所、採った人の名前をそれぞれ書くと、より良い標本になると思います。

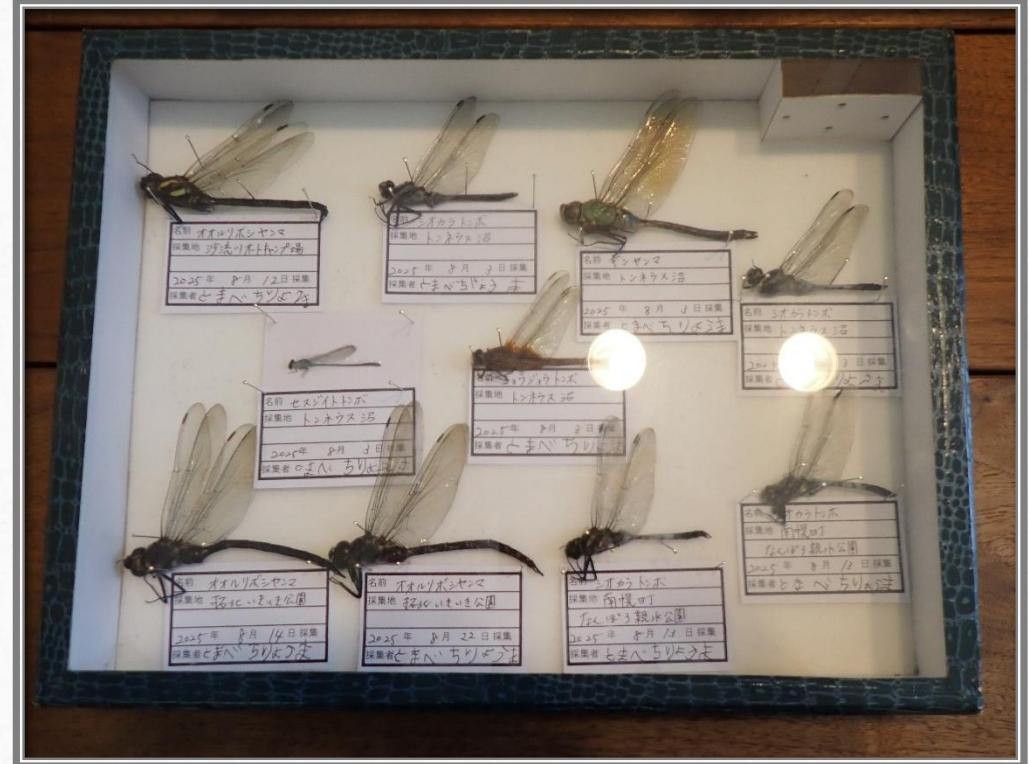


優秀賞

苦米地 諒眞（とまべち りょうま）さん

審査員より

採集したトンボについて、日付、場所、採集者が1つ1つ書かれていて、ラベル付けがしっかりとされている点が良かったです。またピン留めも、針でていねいに固定されていて、しっかりとした標本を作ろうとしている様子が伝わりました。また、採集したトンボについてのレポートをまとめてみると、良いふりかえり学習になると思います。



努力賞

柴崎 駢 (しばさき かける)さん
「ほとんど一人でとったトンボとり」

隈元 遼 (くまもと はる)さん
「夏のこん虫さいしゅう」

高橋 美なつ (たかはし みなつ)さん

宮澤 直央 (みやざわ なお)さん
「2025なつ トンボの標本をつくろう」

全体 講評

7回目となった昆虫標本箱コンテスト。9名の作品がエントリーされ、今年も白熱した審査となりました。

多くの場所で昆虫採集を楽しんだ様子が伝わり、「いつ」「どこで」捕れた「何の」標本なのか、しっかりと書かれている標本も多かったです。

評価では「どれくらいの種類が捕れたのか」「標本としての価値がどれだけあるのか」「多くの場所で採集をしたのか」をポイントとし、審査しました。また、昆虫採集を通して学んだことをまとめたレポートも加点対象としました。トンボは、その場所の環境を伝えてくれる昆虫です。なので、「このトンボがいるということはどういう環境なのか」や「地域によってどうして捕れるトンボが違うのか」といったことまで含めるとさらに良いレポートになります。

地元以外の場所で捕まえた昆虫や、トンボ以外の昆虫標本も大歓迎です。ぜひ来年度も昆虫採集をして、標本箱コンテストに参加してみてください！

今回の副賞として入賞作品応募者には

- ・賞状
- ・最優秀賞 図書券 3000円分
- ・優秀賞 図書券 2000円分
- ・努力賞 図書券 1000円分

を差し上げます。